て亡くなった…ということを聞いたことがあります。こういう死別では強い後悔が残るでしょう。死は本当に不意に訪れます。

この機会に生前葬はともかく、せめて生前葬のお話でもされたら如何でしょうか。できたらご夫婦で生前葬を試して見てください。お一人の方は、友人やお知り合いの方々とする方法も考えられます。

どうか一度限りの人生を、愚痴や喧噪にエネルギーを費やさず、思いやりと尊敬の念でお互い生きられたら、より幸せになれると思います。平凡な今日という一日を大事になさって下さい。

内田　誠（うちだ　まこと）

東京天文台（現国立天文台）に11年間勤務。在職中に東京理科大学理学部物理学科、日本大学文理学部哲学専攻（通信）卒。30歳で天文台を退職。その後日本大学文理学部英文学専攻（通信）卒。私塾で教育に当たる傍ら死の問題を考察。2006年12月に「死に直面したあなたに」を自費出版。2008年1月に死生学研究会を立ち上げ、死の不安の解消等を中心に死生学全般に関する年3回のセミナー（講演会）を開催。現在第25回セミナーを終了。毎年3月・7月・11月に開催。八王子市出身・日本臨床死生学会会員。

ページの先頭へ

HOMEへ戻る

Copyright © Citizen Oriented Medicine. All rights reserved.